

# 株式会社AQインタラクティブ

---

2011年3月期  
第1四半期決算説明会



2011年8月18日

# 当社グループの基本情報

---

# 会社概要(2010年6月末現在)



- 商号 :株式会社AQインタラクティブ
- 所在地 :東京都品川区東品川4丁目12番6号  
日立ソフトタワーB
- 設立 :2000年3月
- 資本金 :3,199百万円
- 代表者 :代表取締役 執行役員社長 許田 周一
- 決算期 :3月
- 株式の状況 :発行済株式 :54,485株
- 従業員 :393名(連結) ※345名(7月末現在、同)
- 事業内容 :ゲームソフトの企画・開発・販売
- URL :<http://www.aqi.co.jp>
- 連結子会社(6社) :(株)アートゥーン、(株)キャビア、(株)フィールプラス、  
XSEED JKS, Inc.、(株)マイクロキャビン、(株)リンクシンク

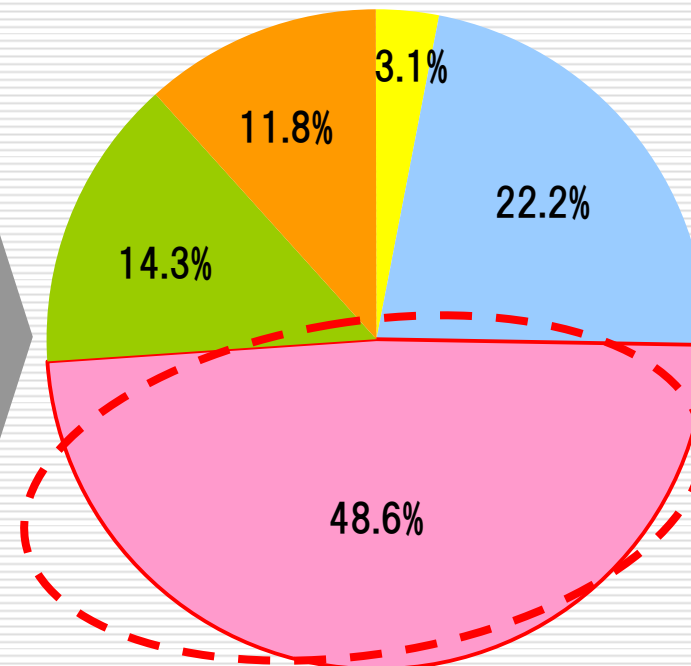
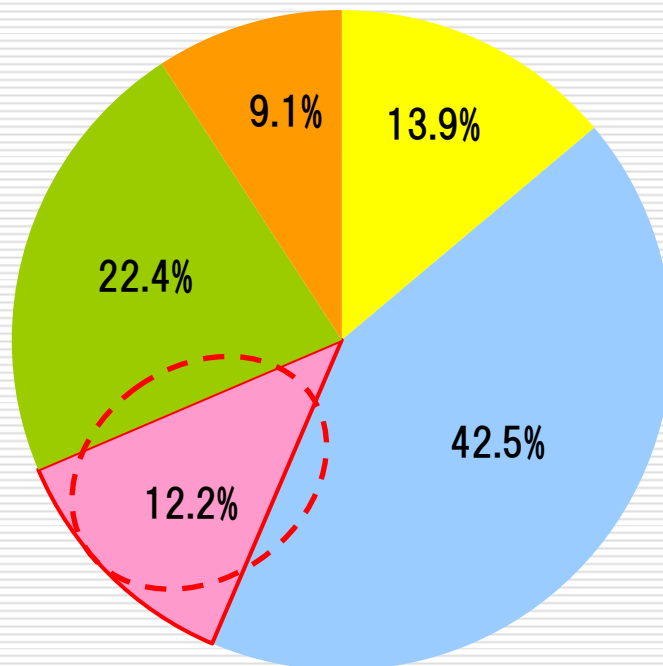
# 当社グループの事業内容



＜売上高構成比＞ 2010年3月期実績

2011年3月期 第1四半期実績

- コンシューマー事業  
自社販売
- コンシューマー事業  
受託開発
- ネットワーク  
コンテンツ事業
- アミューズメント事業  
自社販売
- アミューズメント事業  
受託開発



- エンターテインメントコンテンツの幅広い出口に対して独自に企画開発し、商品供給しているコンテンツプロバイダーが当社グループ
- 各事業分野に専門的に精通しており、自社IPを即座に水平展開可能
- 2011年3月期は、**ネットワークコンテンツのトップランナー**をめざし、成長分野である同事業に経営資源を傾注

# 2011年3月期 第1四半期の実績

---

# 2011年3月期 第1四半期 実績(P/L)



## 売上高

ネットワークコンテンツ事業が好調、大きく増加

## 営業利益

利益率の高いネットワークコンテンツ事業の寄与およびコンシューマーゲーム事業の赤字縮小により黒字化

## 四半期純利益

希望退職者の募集に伴う特別退職金等の発生により71百万円の特別損失が発生するも、黒字を確保

(単位:百万円)

	2010年3月期 1Q実績		2011年3月期 1Q実績		前年 同期比	2011年3月期 中間計画		中間計画 進捗率	2010年3月期 中間実績	
売上高	764	100%	1,596	100%	832	3,230	100%	49.4%	2,908	100%
売上総利益	47	6.2%	898	56.3%	851	1,563	48.4%	57.5%	738	25.4%
販売管理費	640	83.8%	654	41.0%	14	1,133	35.1%	57.7%	1,276	43.9%
営業利益	△593	—	244	15.3%	837	430	13.3%	56.7%	△537	—
経常利益	△594	—	221	13.8%	815	430	13.3%	51.4%	△553	—
税引前利益	△602	—	153	9.6%	756	350	10.8%	43.7%	△606	—
四半期純利益	△555	—	84	5.3%	639	220	6.8%	38.2%	△413	—

# 2011年3月期 第1四半期実績(セグメント別P/L)



(単位:百万円)

	2010年3月期 1Q実績		2011年3月期 1Q実績		前年 同期比	2011年3月期 中間計画		中間計画 進捗率	2010年3月期 中間実績	
	金額	比率	金額	比率		金額	比率		金額	比率
コンシューマーゲーム事業	366	48.5%	404	25.3%	38	1,098	34.0%	36.8%	1,748	60.1%
ネットワークコンテンツ事業	4	0.5%	776	48.6%	772	1,143	35.4%	67.9%	38	1.3%
アミューズメント事業	393	51.4%	416	26.1%	23	989	30.6%	42.1%	1,121	38.5%
売上高	764	100%	1,596	100%	832	3,230	100%	49.4%	2,908	100%
コンシューマーゲーム事業	△344	—	△121	—	223	161	5.0%	—	△401	—
ネットワークコンテンツ事業	△37	—	473	29.6%	510	485	15.0%	97.5%	△77	—
アミューズメント事業	△88	—	47	2.9%	135	60	1.9%	78.3%	175	—
部門利益	△471	—	399	25.0%	870	706	21.9%	56.5%	△303	—
共通販管費	122	16.0%	155	9.7%	33	276	8.5%	56.2%	234	8.0%
営業利益	△593	—	244	15.3%	837	430	13.3%	56.7%	△537	—
経常利益	△594	—	221	13.8%	815	430	13.3%	51.4%	△553	—
四半期純利益	△555	—	84	5.3%	639	220	6.8%	38.2%	△413	—

# 2011年3月期 第1四半期実績(四半期推移表)



(単位:百万円)

	2011年3月期 1Q実績		2010年3月期 4Q実績		2010年3月期 3Q実績		2010年3月期 2Q実績		2010年3月期 1Q実績		2010年3月期 中間実績	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
コンシューマーゲーム事業	404	25.3%	1,569	55.5%	739	50.6%	1,382	64.5%	366	47.9%	1,748	60.1%
ネットワークコンテンツ事業	776	48.6%	631	22.3%	205	14.1%	33	1.6%	4	0.6%	38	1.3%
アミューズメント事業	416	26.1%	627	22.2%	516	35.3%	727	33.9%	393	51.5%	1,121	38.5%
売上高	1,596	100%	2,828	100%	1,461	100%	2,143	100%	764	100%	2,908	100%
コンシューマーゲーム事業	△121	—	308	10.9%	△40	—	△56	—	△344	—	△401	—
ネットワークコンテンツ事業	473	29.6%	383	13.6%	18	1.3%	△39	—	△37	—	△77	—
アミューズメント事業	47	2.9%	148	5.2%	50	3.5%	263	12.3%	△88	—	175	—
部門利益	399	25.0%	840	29.7%	29	2.0%	167	7.8%	△471	—	△303	—
共通販管費	155	9.7%	130	4.6%	143	9.8%	111	5.2%	122	16.0%	234	8.0%
営業利益	244	15.3%	710	25.1%	△114	—	55	2.6%	△593	—	△537	—
経常利益	221	13.8%	723	25.6%	△106	—	41	1.9%	△594	—	△553	—
四半期純利益	84	5.3%	825	29.2%	△353	—	141	6.6%	△555	—	△413	—



# 2011年3月期 第1四半期実績(B/S)



■利益の積上げおよび売掛金・受取手形の回収が進み、現預金が増加

■買掛金の減少および短期借入金の返済等により流動負債が減少

(単位:百万円)

		2010年3月末現在		2010年6月末現在		前期末対比	2009年6月末現在	
流動資産	現預金	2,582	33.2%	3,099	42.0%	517	2,326	33.2%
	売掛金・受取手形	2,141	27.5%	1,291	17.5%	△850	866	12.3%
	たな卸資産	1,058	13.6%	1,069	14.5%	11	1,621	23.1%
流動資産		6,377	82.0%	6,009	81.5%	△368	5,480	78.1%
固定資産		1,403	18.0%	1,361	18.5%	△42	1,534	21.9%
資産合計		7,780	100%	7,371	100%	△409	7,014	100%
負債	流動負債	1,186	15.2%	739	10.0%	△447	1,106	15.8%
	固定負債	169	2.2%	201	2.8%	32	90	1.3%
負債合計		1,356	17.4%	941	12.8%	△415	1,196	17.1%
純資産合計		6,424	82.6%	6,429	87.2%	5	5,818	82.9%
負債・純資産合計		7,780	100%	7,371	100%	409	7,014	100%

# 2011年3月期 第1四半期実績(コンシューマーゲーム事業)



## 売上高

- 自社販売部門: 国内新タイトルの販売縮小により減少
- 受託開発部門: 大手パブリッシャーからの新規契約獲得に注力し増加

## 部門利益

前四半期の反動によるマイルストーン減少と受託タイトルの中止が主な要因となり、研究開発費が増加したことで損失を計上(リストラ効果は2Q以降)

ただし、前年同期のような自社販売部門の販売不振に伴う損失が発生せず、損失額は大きく減少

(単位:百万円)

	2010年3月期 1Q実績		2011年3月期 1Q実績		前年 同期比	2011年3月期 中間計画		中間計画 進捗率	2010年3月期 中間実績	
	金額	比率	金額	比率		金額	比率		金額	比率
自社販売部門	63	17.2%	50	12.4%	△13	244	22.2%	20.5%	393	22.5%
受託開発部門	303	82.8%	354	87.6%	51	854	77.8%	41.5%	1,355	77.5%
コンシューマーゲーム事業 売上高	366	100%	404	100%	38	1,098	100%	36.8%	1,748	100%
部門利益	△344	—	△121	—	223	161	14.7%	—	△478	—

# 2011年3月期 第1四半期実績(ネットワークコンテンツ事業)



## 売上高

2009年7月に課金サービスを開始した『ブラウザ三国志』が引き続き好調に推移

## 部門利益

売上高の増加に伴い大きく増加

(単位:百万円)

	2010年3月期 1Q実績		2011年3月期 1Q実績		前年 同期比	2011年3月期 中間計画		中間計画 進捗率	2010年3月期 中間実績	
ネットワークコンテンツ事業 売上高	4	100%	776	100%	772	1,143	100%	67.9%	38	100%
部門利益	△37	—	473	61.0%	510	485	42.4%	97.5%	△77	—

# 2011年3月期 第1四半期実績(アミューズメント事業)



## 売上高

- 自社販売部門: 前年同期に対し減少したものの、概ね想定どおり
- 受託開発部門: 遊技機向けソフトウェアの開発・納品が堅調に推移し、前年同期に対し増加

## 部門利益

上記に伴い黒字化を果たす  
 (前年同期は『ひぐらしの哭く頃に 雀』の販売不振および下期発売予定の『みんなでダービー』の研究開発費が追加で発生したため、損失を計上)

(単位:百万円)

	2010年3月期 1Q実績		2011年3月期 1Q実績		前年 同期比	2011年3月期 中間計画		中間計画 進捗率	2010年3月期 中間実績	
	金額	進捗率	金額	進捗率		金額	進捗率		金額	進捗率
自社販売部門	301	76.6%	228	54.8%	△73	561	56.7%	40.6%	809	72.2%
受託開発部門	92	23.4%	188	45.2%	96	428	43.3%	43.9%	311	27.8%
アミューズメント事業 売上高	393	100%	416	100%	23	989	100%	42.1%	1,121	100%
部門利益	△88	—	47	11.3%	135	60	6.1%	78.3%	175	15.6%

# 2011年3月期の戦略

---

# 2011年3月期 業績計画



ネットワークコンテンツ事業は好調に推移中。新作ブラウザゲームおよび  
 コンシューマーゲーム事業の進捗を精査中のため、業績予想は据え置き

(単位:百万円)

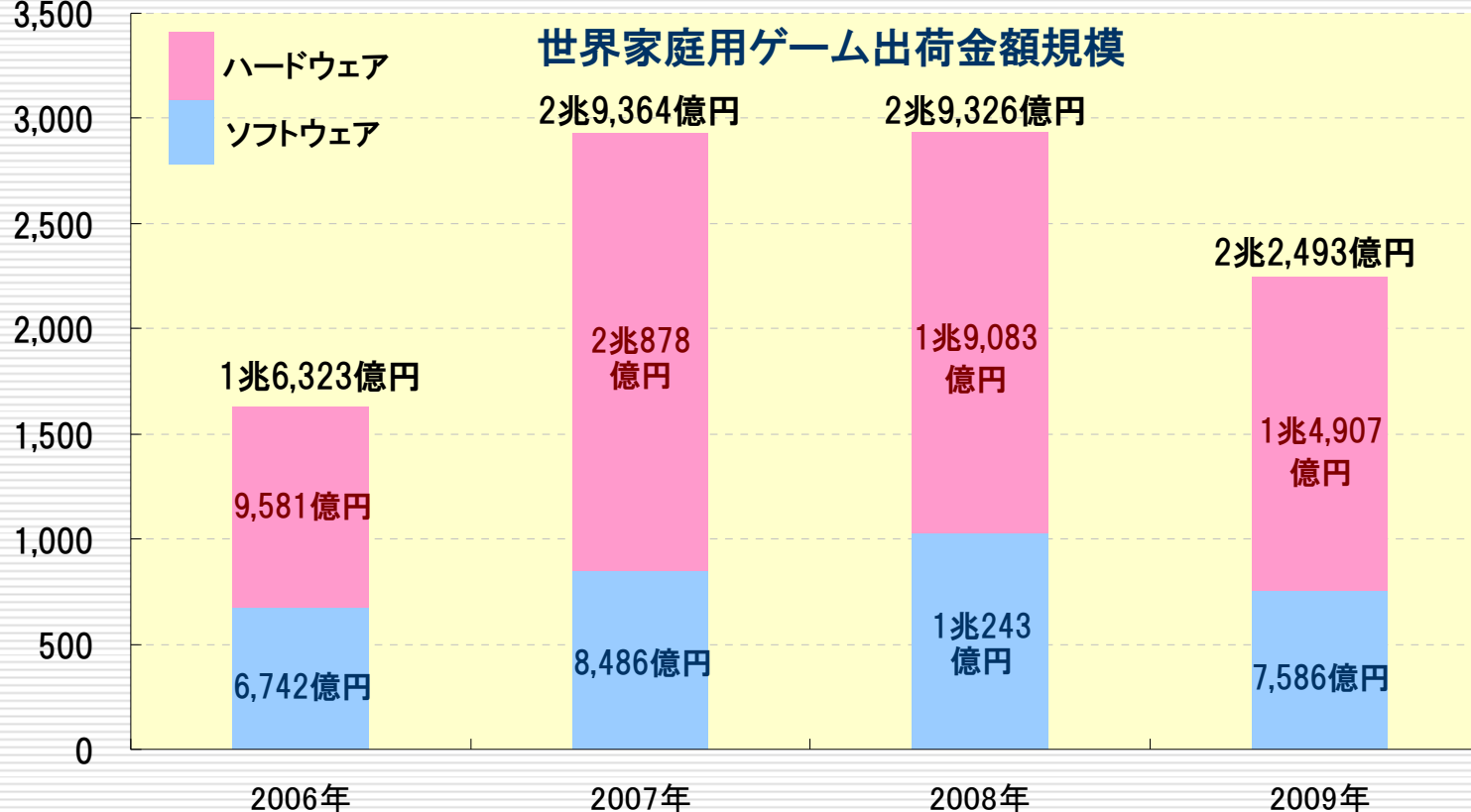
	2010年3月期実績				2011年3月期計画			
	上期	下期	通期	前期比 (%)	上期	下期	通期	前期比 (%)
コンシューマーゲーム事業	1,748	2,308	4,057	0.8%	1,098	1,467	2,565	△36.8%
ネットワークコンテンツ事業	38	837	875	—	1,143	1,047	2,190	150.1%
アミューズメント事業	1,121	1,143	2,265	5.2%	989	956	1,945	△14.1%
売上高	2,908	4,289	7,197	16.5%	3,230	3,470	6,700	△6.9%
コンシューマーゲーム事業	△401	268	△132	—	161	△38	123	—
ネットワークコンテンツ事業	△77	402	324	—	485	215	700	115.4%
アミューズメント事業	175	198	374	△44.5%	60	149	209	△44.1%
部門利益	△303	869	566	26.4%	706	326	1,032	82.2%
共通販管費	234	273	508	11.5%	276	246	522	2.7%
営業利益	△537	595	58	—	430	80	510	775.8%
経常利益	△553	616	63	366.7%	430	80	510	703.7%
四半期純利益	△413	471	58	—	220	60	280	378.6%

# ゲーム市場の動向



家庭用ゲーム市場全体は縮小傾向だが、ネットワークゲーム市場は拡大傾向にあり、潜在成長余地は高い

(単位:  
十億円)



オンライン(ネットワーク)ゲーム市場の市場規模(日本国内)	2006年	2007年	2008年	2009年
	1,585億円	1,766億円	1,960億円	2,385億円

出典:ファミ通  
ゲーム白書

# 戦略のポイント【売上面】



①ネットワークコンテンツ事業を最大の成長分野と位置付け、有力商品の開発・投入を行い第2・第3の自社IPを育成する

②コンシューマー事業 自社販売部門は、厳しい市場環境を勘案し運営体制を縮小、投資姿勢を慎重にし、赤字体質を脱却

③コンシューマー事業 受託開発部門は、現状規模を維持

④アミューズメント事業 自社販売部門は、無理な投資は行わず、2012年3月期での回復を目指す

⑤業務用遊技機向けソフト開発部門でのシェア拡大を行う



# 戦略のポイント【費用面】



①希望退職の実施による人員規模の適正化を図り、収益力を向上  
(実施済み)

②経営陣の刷新と組織改正実施により責任と業務分掌を明確にする  
とともに、運営体制の効率化を推進

③全社的な経費削減活動「SAVE 7」の実施により無駄なコストを  
排除し、収益性を向上

# 部門戦略【コンシューマーゲーム事業】



**自社タイトルの制作は慎重に検討し、受託開発は体制を最適化し新規契約の獲得に注力する**

- 市場環境に合わせ構造改革を実行。希望退職の募集により組織をあるべき状態に見直し(実施済み)
- 開発リソースの再配置
- ニューハードに対しては、消費者ニーズを確実に捉えた「売れる」要素を足した開発を重視
- 国内外大手パブリッシャー向け営業に注力
- 大型案件獲得をめざした企画提案力の強化
- 社内受託基準の明確化とその徹底遵守

最大の成長分野と位置付け、開発リソースを傾斜し  
有力商品の投入を継続

## ■好調の『ブラウザ三国志』を引き続き強化

- 当第1四半期は、アイテム要素の追加に注力したことなどが奏功し好調。引き続き、会員の活性化に努める

## ■新タイトルの投入により更なる成長をめざす

- 『ブラウザ三国志』に続く新たな収益の柱の構築に取り組み、一層の成長を図る

## ■モバイル対応による収益機会の拡大

- 携帯電話向けのみではなくスマートフォン対応も実施、新たなユーザー層を取り込み収益向上を図る

# 部門戦略【ネットワークコンテンツ事業】

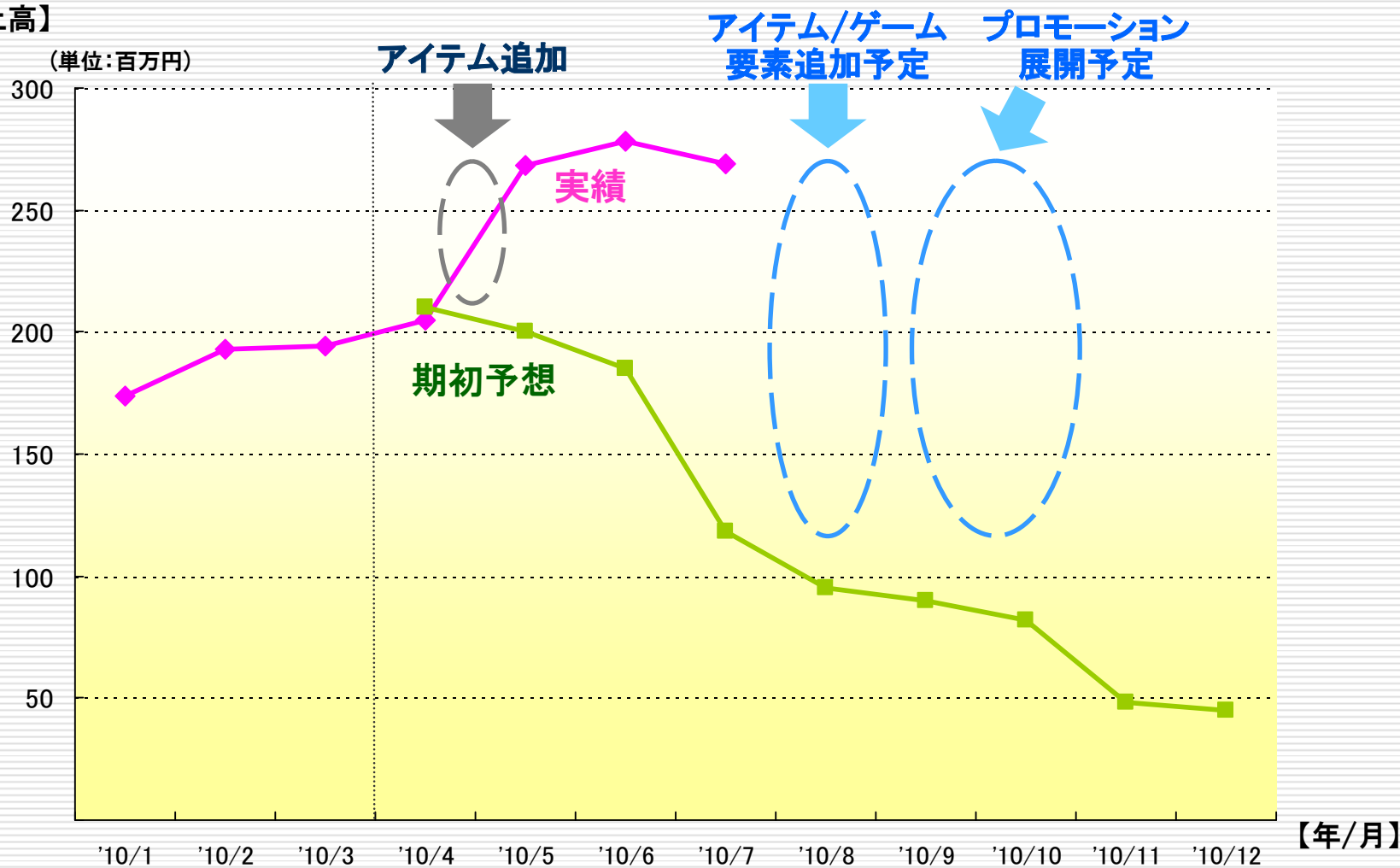
## ～『ブラウザ三国志』売上高推移～



サービス2年目の今期は、経年を考慮し保守的に想定するも、アイテム要素の追加施策等により、現状は期初予想を超過。トップブランドとしてFC化をめざし引き続き注力するとともに、蓄積したノウハウを活かし次のタイトルの育成・成長を図る

### 【売上高】

(単位:百万円)



# 部門戦略【ネットワークコンテンツ事業】

## ～今期のタイトルラインナップ～



### 展開中

PC ブラウザ三国志



ジャンル: マルチプレイヤー  
シミュレーション

【2009年7月～】

PC ダービーマスター



ジャンル: 競馬シミュレーション

【2010年7月～】

PC ブラウザプロ野球



© 2010 AQ INTERACTIVE Inc. All rights reserved.  
(社)日本野球機構承認 NPB BIS プロ野球公式記録使用

ジャンル: プロ野球選手監督・育成

【2010年8月～】

### 今期リリース予定

モバイル向

タイトル①

PC向

タイトル②

PC向

タイトル③

上記以外に、スマートフォン向けのタイトルも準備中

『ポケモンバトリオ』は引き続き新弾パックを投入。  
既発売のオリジナル機器の販売により収益を支える

## ■ポケモン事業は引き続き積極的に展開

- 『ポケモンバトリオ』は経年による稼働率低下を想定するも、継続的に新規パックコレクションを投入しシステムアップデートに努める
- ポケモン事業を引き続き重要ビジネスとして捉え今後も積極展開を図りつつ、次世代ポケモンも検討

## ■オリジナル機器の販売強化

- 『キューブモール』、『みんなでダービー』の販売強化で部門収益を下支えする

## ■海外展開

- 東南アジアでの展開により収益機会の拡大を図る

## 遊技機向け受託開発体制の強化・拡充

### ■引き続き事業領域の拡大に注力

- 堅調な遊技機向けソフトウェア開発案件の受注拡大をめざし、開発体制を強化・拡充

### ■技術力の強化

- 強みの技術力に更なる磨きをかけ、技術的優位性の一層の向上を図る

### ■グループ内シナジーの創出

- 当事業を手がける子会社、(株)マイクロキャビンと当社 コンシューマーゲーム事業部門間で開発技術の共有や人材交流を推進、グループ内資産の有効活用によりシナジー創出を図る

ご清聴、誠にありがとうございました

---

お問い合わせ先

経営企画部

TEL : 03-5769-7271

FAX: 03-5769-7274

URL: <http://www.aqi.co.jp>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください